

# 論文提出にあたってのご注意 ～梗概集印刷に関する留意事項～

日本環境管理学会では、研究発表会でご発表いただく論文および現場報告について、1冊の梗概集にまとめ、会員および当日参加される方々に配布します。研究発表会は、できるだけ多くの方のご参加を促すため、参加費を安く設定しております。それに伴い、梗概集もできるだけ価格の安い印刷方法（フィルム等の加工をせず提出された論文等の実物を直接版下にして印刷する方法）を採用しています。そのため、場合によっては文字が見えづらい、図表の濃淡がわかりにくいなど、十分な印刷仕上がりにならない場合がございます。以下の場合にその可能性が高くなりますので、ご注意くださいようお願い申し上げます。

- ◎写真
- ◎部分的に塗りつぶされた図
- ◎白黒でも濃淡の違いがはっきりしないもの

パソコンに接続されたプリンターによるプリントアウトと異なり、印刷物は基本的に網点によって色の濃淡を表現します。そのため、これらについては、印刷版下として用いる際、網状の点に分解する作業が別途必要になります。しかし、そのような処理を行っても、必ずしも明瞭なものが得られるとは限りません。

従って、写真以外については、可能な限りこのような形ではない表現を工夫してください。

## 1. カラーでのプリントは避けてください

カラーは、線の太さや色によっては、印刷版下にした場合に消滅してしまうものがあります。また、色の違いが直接的に白黒の差として現れるものでもありません。

従って、カラーを用いた原稿は避けてください。

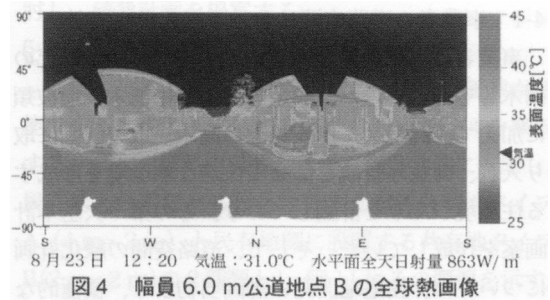


図4 幅員6.0m公道地点Bの全球熱画像  
カラー原稿をモノクロ印刷したときのイメージ  
『環境の管理』68号25頁参照

## 2. 文字部分への網かけは避けてください

表などの重要な部分に網かけを行うケースがありますが、印刷版下にした場合、文字と網かけとの間の濃淡の違いが少なくなり、文字がかえって見づらくなる場合があります。

従って、表中の文字や数値を強調したい場合には、例えば文字の大きさやフォントを変えるなど、網かけではない工夫をしてください。

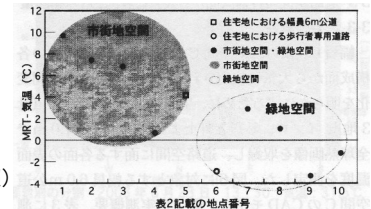
- ※円グラフ等で塗りつぶした部分に記入された文字や数値についても同様ですので、ご注意ください。
- ※ただし、枠を黒色で塗りつぶし白抜き文字にすることは可能です。

表2 熱放射環境の比較 (他の市街地空間、緑地空間との比較)

空間の特徴	天空率	舗装	樹木	MRT	気温	MRT-気温
市街地空間 1 商業ビル地区に位置する交差点 2005年8月4日 11:14~13:00 (引用文献8)	22	1	0	45.1	35.3	9.8
2 開放的な駅前広場	40	1	0	41.3	33.9	7.4
3 東西道路(4車線)の北側歩道	21	1	1	41.2	34.5	6.7
4 東西道路(4車線)の南側歩道	22	1	1	34.1	33.6	0.5
住宅地空間 (本研究) 5 住宅地における幅員6m公道(地点B)	52	1	1	35.1	31.0	4.1
6 住宅地における歩行者専用道路(地点A)	49	1	2	28.9	31.8	-2.9
緑地空間 7 木の植えられた公開空地	13	1	2	35.8	33.1	2.7
8 緑豊かな公園	17	1	2	34.9	33.9	1.0
9 開放的な芝地	81	0	0	30.4	33.7	-3.3
10 大きな樹冠の下の休憩スペース	13	1	2	32.0	30.8	-1.2

\*舗装 1:舗装 0:非舗装、樹木 0:なし 1:有り 2:多

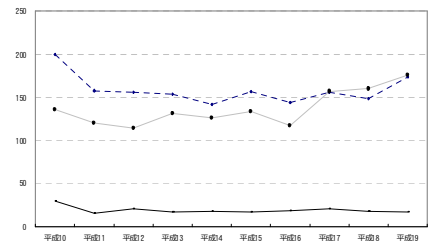
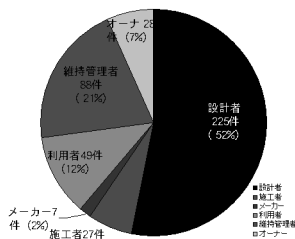
網かけによって文字が読みづらく、網の状態もまだら模様になってしまった例  
『環境の管理』68号25頁参照



## 3. グラフ等の作成に関する留意事項

やむを得ず網かけを行わなければならない場合は、塗りつぶしではなく、できるだけ点や斜線等で領域の違いを明確にする工夫をお願いします。

また、表や折れ線グラフの場合、細い線や破線を用いると、線自体が十分に印刷されない場合があります。また、折れ線のポイントもできるだけわかりやすい形を選択するようにしてください。



表やグラフを作成で、色の塗りつぶしや、細い線や色の薄い線を使用すると、文字や線が見えづらくなる場合があります。